

病院長名	北川 喜己
所在地	〒454-8502 愛知県名古屋市中川区松年町4丁目66番地
交通案内	市バス：名古屋駅 名駅バスターミナル 4番または21番 幹線駅2 東海橋・野間駅 行き 玉船町3丁目 下車 名鉄神宮前駅 3番 幹線宮2 権野・中川車庫前 行き 昭和橋 下車 地下鉄：六番町3番出口 市バス幹線宮2・高畑4番出口 高畑18港区役所行き



□ 病院の特徴

日本海員救済会は明治13年に設立された日本で最初の公益法人です。救済という意味は「腋に手を添えて導き、たすける」という意味です。東京に本部を置き、全国で8つの病院、4つの診療所、2つの老健施設、1つの看護学校を運営しています。名古屋救済会病院はその1つの病院で、昭和23年に設立され、病床数602床、職員数1,300名医師は研修医を含めて190名です。愛知県で最初の救命救急センターを開設し、災害拠点病院、地域医療支援病院、愛知県がん拠点病院、卒後臨床研修評価機構から認証などの指定を受け、名古屋市西部の拠点病院として、救急医療と高度先進医療を行っています。

□ 研修プログラムの特徴

研修プログラム名

名古屋救済会病院内科専門研修プログラム

【研修目標】

愛知県の医療事情や地域事情を理解し、社会に貢献できる内科専門医の育成を行います。

【研修期間】

3年

【研修スケジュール】

循環器、呼吸器、消化器、神経、腎臓、血液、内分泌・糖尿病の各内科を2か月研修します。外来実習も併せて行い、研修に必要な内科疾患を行います。2年目はサブスペシャリティ研修を行います。3年目は異動を伴う研修を12ヶ月行います。



▲気管支ファイバー施行中

▼カンファレンス現場



□ 主な連携施設

名古屋大学医学部附属病院、藤田医科大学病院、地域医療機能推進機構中京病院、名古屋第二赤十字病院、大同病院、公立西知多総合病院、刈谷豊田総合病院、半田市立半田病院、常滑市民病院、名古屋共立病院、聖霊病院、南生協病院、かいせい病院、名古屋西病院

□ メッセージ

指導医（副院長 呼吸器内科部長 島 浩一郎）

名古屋救済会病院は名古屋市南西部に位置する急性期病院で、救急車受け入れ台数は愛知県内でも有数であり、2020年からはHybrid ERを稼働させています。内科は循環器・消化器・呼吸器・脳神経・血液・糖尿病内分泌・腎臓・膠原病リウマチの8つのサブスペシャリティからなり、各学会の教育病院に指定されており、多くの指導医の下で豊富な症例を経験することができます。内科内での連携は緊密で、併存疾患がある患者では円滑に併診を依頼できますし、専門医からの指導を受けることができます。内科以外の外科、心臓血管外科、脳神経外科、放射線科などの診療科も充実しており、放射線照射を含めたほとんどの治療を院内で完結できます。各診療科内での症例検討会はもちろん、病理、放射線科等を含めた臓器別の検討会も実施されており、広く深く研修することが可能です。連携施設として、亜急性期から慢性期医療を行う病院での研修を選択することも可能です。内科領域全般にわたる研修を通して、個々の患者に最適な標準的かつ全人的な医療の実践に必要な能力を習得します。



□ 募集要項

・採用予定人数	9人
・給与/月額	600,000円～680,000円/月額
・当直回数/月	4回～5回/月
・当直料/回	28,000円～30,000円/回
・その他	
・応募連絡先	担当者 後期研修管理室 光田 電話番号 (052) 652-7711 Eメール Kouki-kenshu@ekisai.or.jp